

第6期川西市地域福祉計画(案)の概要

基本理念

誰もが自分らしく住み続けられる地域共生社会の実現

高齢化や人口減少が進み、高齢者支援の充実や労働力の減少に対応するための多様な働き方や就労支援に取り組むことが急務となっています。また、地域のつながりの希薄化や困難を抱えた人の孤立化が進んでおり、複合化、多様化する地域課題への対応や、次代に向けた地域活動の見直しが必要となっています。そこで、第6期川西市地域福祉計画では、第6次川西市総合計画で掲げるめざす都市像「心地よさ 息づくまち 川西 ～ジブンイロ 叶う未来へ～」を踏まえ、基本理念を「誰もが自分らしく住み続けられる地域共生社会の実現」と定めます。

重点施策

①世代や分野を超えた地域活動の創出

地域住民をはじめ、様々な機関や団体等の多様な主体と協働し、従来の地域活動には参加することが難しかった人々も含め、誰もが参加できるような地域活動を創出します。

②生きがい就労事業の実施

高齢者をはじめ、障がい者や生活困窮者等、誰もが役割を持ち、住み慣れた「地域で働く」ことによって「地域で生きがいを持ってともに生きていく」ことをテーマとした「生きがい就労事業」を実施します。

③共生型居場所機能を有する相談支援の実施

制度上の相談にはつながりにくい様々な課題を持った人々に対する相談支援を、居場所機能と併せて実施し、支援と支援の合間を埋めながら、利用者目線で支援につなげる仕組みづくりに取り組みます。

④重層的支援体制の構築

複雑で複合的な課題に対応できるよう、世代や分野を問わない包括的な支援体制構築に向けて、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援等を一体的に実施します。

⑤横断的な支援を可能にする仕組みの構築

分野別で縦割りの支援となっている就労支援（高齢者、障がい者、生活困窮者、就職氷河期世代等）等が横断的に実施できるよう、官民が連携した支援のプラットフォームをつくり、支援が必要な人に寄り添った横断的な支援が可能となる仕組みづくりに取り組みます。

<基本目標1> つながり支えあう共生の地域づくり

○誰もが役割を持てる地域づくり（46ページ）

市民主体の地域福祉活動への支援のほか、共生型居場所の推進、地域による福祉コミュニティ活動の促進等への取組を進めます。

○地域福祉を推進する人材づくり（51ページ）

地域福祉に関する人材の発掘や育成、学びの機会の創出に取り組みます。

○地域を支えるネットワークづくり（54ページ）

住民主体の活動はもとより、ボランティア、NPO法人、企業等多様な主体の参画により、複雑化した地域課題の解決に取り組みます。

<基本目標2> 誰もが安心して生活できる基盤づくり

○総合相談支援体制の構築（56ページ）

福祉、保健、医療に関する総合的な情報提供のほか、重層的支援体制の構築、横断的な支援を可能にする仕組みの構築に取り組みます。

○安全安心に暮らすための環境づくり（63ページ）

地域におけるケアシステムの充実や避難行動要支援者支援の取組、地域の多様な主体との連携を進めます。

<基本目標3> 誰にでもやさしく自分らしく暮らせる地域づくり

○福祉サービス利用者等の権利擁護（68ページ）

○生活困窮者自立支援対策等の推進（72ページ）

○自殺防止対策の推進（75ページ）

○再犯防止の推進（85ページ）

○バリアフリーのまちづくり（87ページ）